

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
編集者 西田 伸
印刷所 西田伸印刷所
〒100 東京都千代田区西神田7-7-7
電話 2426・2932
電報 3-36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつづける教育効果の充実に努める事は必要であり教育界に課せられた責務でもある。(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

徳育の充実を

第2次答申から

体験学習、集団生活の拡大

好ましい人間づくりめざし

臨時教育審議会(岡本道雄会長)は四月二十三日「教育改革に関する第二次答申」を公表したが、この中で「自然の中での体験学習の促進」を提案している。都市化が進むにつれて自然とふれ合う機会が少なくなっている子どもたち。この少年たちを農山漁村の自然の中に連れていき、そこで思い切り自由に生活させることによって、生命の尊厳などを体験を通して学ばせようというのが提案のねらいで、具体的には「自然教室」の推進などをよびかけている。

答申は、昨年六月の第一次答申以降の審議の結果をまとめたもので、「二十一世紀に向けての教育の基本的な方向」「教育の活性化とその信頼を高めるための改革」「時代の変化に対応するための改革」「教育行政改革の基本方向」の四部構成、約十三万字。

最大の特徴は、二十一世紀に向けての教育の基本理念としての生涯学習社会への移行を強く打ち出している点。このため、従来の学校教育体系を再編成し、人間のライフステージに関連した教育ネットワークを形成するよう提唱している。

「自然の中での体験学習の促進」は「初等中等教育の改革」の中で徳育の充実の一環として提案されている。その部分を見ると、「集団における自己の役割、社会や他人に対する責任と協同などについての自覚や認識を深め

第3章 初等中等教育の改革

第1節 徳育の充実

(臨時教育第2次答申から)

子どもにとって、家庭は人間形成の最初の、かつ、基盤的な場であり、そこから学校・地域へと生活圏が拡大する。こうしたなかで、学校においては、家庭・地域との連携のもとに、その教育活動の全体を通じて、徳育の充実を図る必要がある。

ア、初等教育においては、基本的な生活習慣のしつけ、自己抑制力、日常の社会規範を守る態度などの育成を重視する。また、中等教育においては、自己探求、人間としての「生き方」の教育を重視する。

イ、児童・生徒の発達段階に応じ、自然の中での体験学習、集団生活、ボランティア活動・社会奉仕活動への参加を促進する。

ウ、小・中学校の教育課程における特設「道徳」については、その内容を見直し、重点化を図る。また、道徳実践力を育成するため、特別活動等における道徳指導との関連を強化する。

エ、オ、(省略)

①、③～⑥ (省略)

② 集団における自己の役割、社会や他人に対する責任と協同などについての自覚や認識を深めさせるため、児童・生徒の発達段階に応じ、体験学習、集団生活の機会の拡大を図る必要がある。

とくに、日常の学校生活では得られない教育の場として、都市と農山漁村等との相互交流や森林、河川、海浜等の自然との触れ合いのなかで、同年齢・異年齢からなる集団生活を体験するいわゆる自然教室を拡充・推進する。この際には、自然の変化や自然における人間の営みなどを通じ、自然のもつ役割、人間と自然とのかかわり、人間のもつ可能性についての理解を深めさせるとともに、人間の力をこえるものを畏敬する心をもたせるように努める。また、社会の構成員として有意義な役割を果たせることを自覚させるため、福祉施設その他におけるボランティア活動や社会奉仕活動を推進する。

風紋

五月は若葉の美しさ、東山の麓に住んでいた関係もあって、京都の樹木の美しさを満喫することが出来た。京都の風土は植物にとって非常に都合のよいものであるという。水の豊富なこと、花崗岩の風化で出来た砂まじりの土壌のことなどがある。東京周辺は緑が深まるにつれて、だんだん黒ずんだ陰うつな色調に変わってゆくが、これも火山灰で出来た武蔵野の地方色だ。(和辻哲郎) 梅雨に入ってもまんならすたものでない。五月雨の降りこしてや光堂、芭蕉は「奥の細道」の旅に出ている。同行曾良の日記に「一ノ関黄昏二着、合羽モトオロ也。雨の日山道で迎えるガクアシサイ、雨のオランダ坂の歌につれしける長崎の街、つゆの間雨にうるんだ樹木を旅情を誘う。八丈島、沖繩、ルソン島に渡るより北海道へ渡るほうがむすかしい時代が長く続いたといわれる。冬の寒気の厳しいせいであろう。北海道は梅雨のない土地柄、アヤメ、ユリが咲き乱れる原生花園、大雪山のお花畑、礼文島の高山植物など六月から七月上旬ゆつくり花が楽しめる。七月下旬から観光客のラッシュ、花はずでなし。さい果ての地に憧れ、初めて訪れる旅から青森から連絡船にしたいものだ。三時間五十分、ドラの音に送られ遠ざかりゆく。半島、近づく岬への旅情、費用も安く飛行機よりせいとかな。船旅である。札幌から知床、四つの島を含む観光コースをきいて、時間さえ許せば、地図をひらいて関心のある原野を鉄道利用すれば、いくらでもあるのではなからうか。そしてその途中こそ真の北海道が見い出せるように思う。

60年中の修学旅行生非行・事件

京都府警本部レポート

修学旅行生が集中する京都府で、六十年中どのような非行・暴力事件があったか、このたび発行された京都府警本部の手引きに掲載された事例についてみてみよう。

1、新築極端周遊でけんか

修学旅行生の買い物でぎわう新築極端のけんかが目立っている。

2、四条通りの繁華街で万引

※四月十八日午後四時三十分ごろ、S県T中学三年生のA少年が、四条通りの繁華街でショッピング中、店内に陳列してあったカセットテープ二本(五千円)を万引した。

四条通り繁華街では、修学旅行生の万引がしばしば発生している。なお京都府警本部では、非行や事故は、「自由行動時間」に多く発生しているので野放しにならないよう、と要望している。



新幹線修学旅行専用臨時列車で帰途。(東京駅)

修学旅行春本番

今学期の国鉄連合体輸送

東京サミットも無事終了して、春の修学旅行は最盛期を迎えた。国鉄の連合体による修学旅行も、同一管内の短距離のものを除き、一学期中に三十九連合、約百二十万が全国を走り回る。計画輸送と特急料金割引の特典がある連合体について、各地方別にそのつぎを追ってみたい。

一、東北から関東方面へ

青森、岩手、秋田、宮城、福島、山形各県および庄内地区中学連合が東北・上越新幹線が一部専用臨時列車で、その他は定期列車利用。計六万二千名。



「こまどり」は今も健在

二、関東から東北・関西へ

最大の連合体輸送。関東地区中学連合関西コース十九万四千名をはじめ、東京都神奈川県各中学連合が七月まで三ヶ月にわたり東海道新幹線関西へ。関東地区東京都神奈川県、群馬県各中学連合が東北新幹線で東北へ。いずれも大部分が専用臨時利用。この他東京都、茨城県高校連合が山陽へ、千葉県中学連合が在来線専用臨時で東北と信州へ。計四十五万一千名。

三、中部から関東・関西へ

昭和三十五年以来最長命の専用臨時「こまどり」と新幹線併用の東海三県中学連合が専用臨時利用。この他関東へ

はじめ、新潟、福井両県中学連合、長野県北部小学連合が関東へ。四月六日今学期のトップを切った新潟県中学連合をはじめ、富山、石川、長野、山梨、静岡各県中学連合が関西へ。大半が専用臨時利用。この他新潟県小学連合が名古屋へいずれも在来線専用臨時で計二十九万四千名。

四、近畿から関東・信州・北陸・山陽・九州へ

近畿中学連合が関東および山陽・九州へ新幹線で、信州・北陸へは在来線で、大部分が専用臨時利用。この他関東へ

および九州へ。岡山県中学連合、広島地区小学連合が九州へ。米子市、下関地区両小学連合が広島へ。新幹線定期列車の一部が在来線専用臨時で、計二十二万二千名。

六、四国から関東、関西、九州へ

四国高校連合が関東へ。香川県小学連合が関西へ。香川県中学連合が九州へ。いずれも新幹線定期列車利用で、計二万七千名。

七、九州から関西へ

北九州地区中学連合が山陽新幹線定期列車利用で関西へ。二万三千名。

以上、一学期中は北海道を除く全国各地から、中学校を中心に連合体計画輸送の修学旅行が実施される。夏休み中から十二月までは高等学校が中心となり、国鉄分割前最後

信頼される旅づくり

先生たちとの修学旅行「いつまでもわすれません!」

生徒の心にあざやかにつづられる、ツーリストの修学旅行。

先生と、そして友と行った修学旅行。かけがえのないふれあいがよき思い出として、ひとりひとりの心に残る。そんな旅にしてあげたいですね。

ワールドワイドなネットワークを通じて、ツーリストがお世話する修学旅行は、各方面より多大なご好評を得ています。それぞれの教育方針に添った国内・海外の修学旅行なら、なんなりと近畿日本ツーリストにご相談ください。

近畿日本ツーリスト

本社 千101 東京都千代田区神田松永町19-2 ☎(03)255-7111 営業所 国内242ヶ所(登録) 海外13ヶ所

© 運輸大臣登録一般旅行業第20号

生徒指導と特別活動・修学旅行

四、臨教審「教育改革に関する第二次答申」と旅行の行事・修学旅行の今後の課題

前回の四月号では、修学旅行の見直しと今後の改善・充実の在り方を検討するための手始めとして、「一、教育活動における意義、特質 二、修学旅行の実施状況 三、改善充実に向けての今までの努力」について概観した。

臨教審第二次答申と旅行的行事・修学旅行 今後の課題

今回からは、具体的な観点を設定してあらたに修学旅行の今後の在り方を検討する予定であったが、去る四月二十三日に臨教審第二次答申が発表されたので、予定を変更し、今後の検討内容の基礎資料とすべく、答申の内容から、修学旅行の今後の課題をとり上げてみたい。(以下、第二次答申の内容を構成したが)

一、21世紀のための教育の目標
二、この折からの教育は、人間的な成長と健康の大切さを認識して子どもの心身の両面の均衡のとれた発達に最大限の努力を払うこと。
三、教育の目的が人格の完成を指す以上、その実現のためには、徳育・知育・体育の調和の中に、真・善・美を求め「ひろい心」と「すこやかな体」をほぐしむこと。また、芸術、科学、技術等のあらゆる分野において「ゆたかな創造力」の開化に格別な努力を払う必要があること。

青山良道君を偲ぶ

財団法人全国修学旅行研究協会 理事長 山本種一

健康を害し暫く大阪で静養していたが、なぜか急に思いだして四月二十三日東京に上った。その日突然青山良道君の訃報に接したのである。思いもかけなかった友の死に、私は大きな山が地響きを立てて崩れた様な衝撃を受けた。

彼は今年一月十三日に胃かいよりの手術を受けたが二月二日に退院をし、四月になつてからは毎日登庁していたのである。十一月一日点滴が必要となり再入院して療養中であつたが、二十三日朝から容体が急変して、急性心不全のため人生八十年時代に七十二歳の若さで急逝したのである。公人として私個人としても残した業績は大きい。

健康を害し暫く大阪で静養していたが、なぜか急に思いだして四月二十三日東京に上った。その日突然青山良道君の訃報に接したのである。思いもかけなかった友の死に、私は大きな山が地響きを立てて崩れた様な衝撃を受けた。



青山良道氏(あおやま よしみち) 東京都中野区長、全修協参与理事東京都支部長

六十一の年頭に当り、押絵羽子板の絵入りの年賀はがきで「明けましておめでとうございませう、皆様お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます、今年は何事もなく、くらしも文化も平和の中で向上致します、中野区政発展のため本年も一層のご鞭撻をお願いいたします」を最後に残して、年初の抱負も空しく病魔に襲われ、遂に不届の客となった。もう彼からは永久に年賀状は来ないのだと思つた。熱い涙が止めどもなく頬を伝つた。

文部省教科調査官 高橋哲夫

臨教審の示す今後の教育の在り方に沿ひ、その目標の具現化を図るためのユニークな教育活動として、修学旅行は一翼をになうべく、この視点からの一層の改善が望まれる。(以下略)

長期キャンペーン 各県で展開

さわやか信州 スキーシーズンも残り、長野県の木シラカバも芽吹いて山岳ルートも徐々に開通。春から夏をすぎるとリンドウや紅葉の色づくまでの半年間、県内全域で今年も多数のイベントが目白押し。10月31日までいよいよ富山 アルペンルートは雪の壁、砺波は果花チューリップ、いい人いい味いよいよ富山。全県一斉に、イベント全開。9月30日まで、修学旅行誘致対策協議会県庁内では県内の観光地や体験学習のリーフレットを作成、積極的PR中。あじわいの 岡山路 63年開通を目指し瀬戸大橋工事着々進行中。吉備も美作もグルメ天国。スポーツ、チャレンジ、ビックフレゼント。デリスヤスホリデイ、いまだきまっす！ 8月31日まで SunSun ひろしま 明るさいっぱい、楽しさいっぱい、おいしさいっぱい、やさしさいっぱい。ライブステージの花の国、舞台は広島、来てみんさい。8月31日まで キャッチフレーズ募集 佐賀 佐賀県では、明るくさわやかな観光キャッチフレーズを募集。官製はがきに応募作品、住所・氏名・職業・性別・年令・電話番号を明記、六月三十日(当日消印有効)までに左記へ。八月一日公表。〒840佐賀市城内一―一五九 佐賀県商工労働部観光課あて

眼下に芦の湖、ひろがる湖尻高原。静寂のなかに憩いのひととき。 <修学旅行の専用旅館> 〒250-05 神奈川県箱根町湖尻高原 箱根高原ホテル 電話0460-4-8595(代表)

さわやかな奥日光の高原で素晴らしい修学旅行の一夜をお過ごし下さい。 そのほか 冬期はスキー教室 夏期は林間学校 奥日光高原ホテル 〒321-16 日光市湯元2549-6 (TEL) 0288-62-2121代表

昭和61年5月15日オープン 新館増築「北嶺」 (130名収容) 座禅体験で「心、リフレッシュ!!」 <国際観光旅館> 比叡山 延暦寺会館 TEL 0775-78-0047・0554 FAX 0775-79-5053

いらっしやいませ びわ湖国定公園 近江路の旅へ 収容 600名様 浴場 150名様 設備 全館冷暖房 防災 諸設備完備 駐車場 バス20台 政府登録 国際観光旅館 びわ湖リゾートホテル 大津市におの浜3丁目2-25 電話 大津(0775)24-2321